

今、何の病気が流行しているか！



KAWASAKI CITY

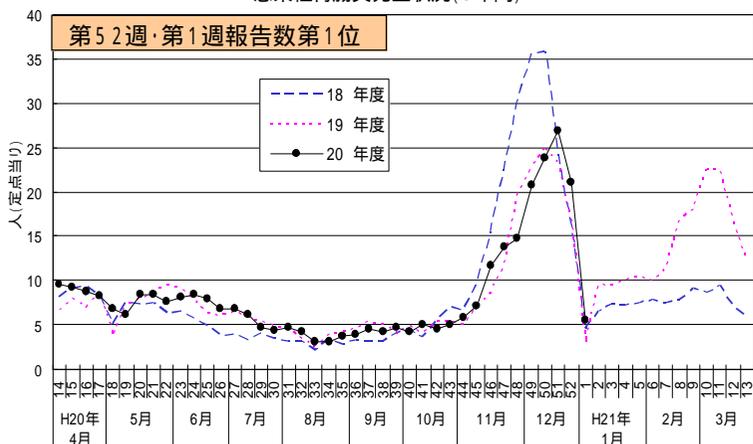
【感染症発生動向調査事業から】

平成20年12月22日(月)～12月28日(日)〔平成20年第52週〕

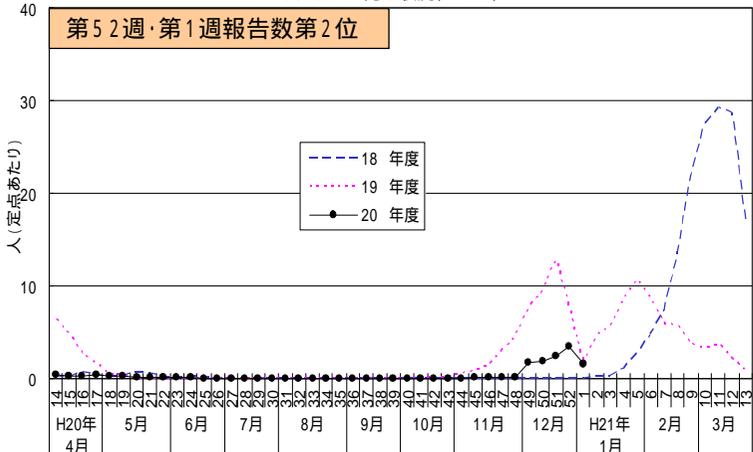
平成20年12月29日(月)～平成21年1月4日(日)〔平成21年第1週〕の感染症発生状況

第52週及び第1週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎、2) インフルエンザ、3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(第52週)と水痘(第1週)の順となっています。学校等が冬期休暇に入ったことから感染性胃腸炎の報告数は減少しましたが、今後も発生動向には注意が必要です。第1週は医療機関の休診日が多く、全体的に報告数が少なくなっています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



本格的シーズン到来！インフルエンザに気をつけましょう。

今シーズンも昨シーズンと同様に早い流行となっていますが、例年、インフルエンザの報告数は、学校等が冬期休暇に入る前まで増加し、休暇期間中は一旦減少、その後、再び増加するという傾向が見られています。

本市においても、第52週までは報告数は増加し続け、第1週は休診の医療機関が多かったため、報告数は減少しましたが、流行の目安である定点当たり1.0を越えています。

例年は1月から2月に流行のピークを迎えるため、今後は患者数の増加が推測されますので、流行時の外出を控えたり、帰宅時のうがいや手洗いなどを心がけ、健康管理に十分注意しましょう。



1 定点あたりの患者数：自治体では特定の病気の発生について集計、解析を行っています。毎週報告をいただいている医療機関を定点といい、1 定点あたりの平均患者数のことを言います。

	第50週 (12/8～12/14)	第51週 (12/15～12/21)	第52週 (12/22～12/28)
注意報値「定点あたり10」 を超えている自治体	なし	北海道	北海道、福島県、兵庫県

川崎市は注意報値は超えていませんが、第52週は定点当たり3.44、第1週は1.62となっています。神奈川県は第52週は定点当たり5.23です。

みんなで心がけよう！せきエチケット！！～病気をうつさない思いやり～

せきをするときは、人から離れ、口や鼻をティッシュやハンカチで押さえるようにして、ウイルス等が飛散しないように心がけましょう。(あとで手洗いも忘れずに！)

発行 川崎市健康福祉局疾病対策課・衛生研究所・各区保健福祉センター(保健所)